

とびしま未来協議会通信

第 22 号

2018/11/16 発行

とびしま
未来協議会
0234-26-2381

“第 11 回三島交流会 in 佐渡” 参加報告

8 月 23・24 日の二日間にわたって、第 11 回となる三島交流会が、佐渡島にて開催されました。

飛島からは、飛島コミュニティ振興会会長の佐藤勝一さん、前副会長の澤口興四一さん、とびしま未来協議会会長の松本友哉さん、加藤栄一センター所長、合同会社とびしまの三浦由人さんが参加しました。そのほか、酒田市、山形県、未来協議会事務局、ジオパーク事務局、東北公益文科大学（学生 11 人）からの参加があり、総勢 25 名での参加となりました。

一日目は、新潟大学名誉教授の池田哲夫氏による講演「宮本常一と佐渡」の後、海府地区ジオサイトの研修です。夜は交流会（佐渡 35 名、粟島 7 名を含めて、計 67 名の参加）で、地元の鷺崎地区から鬼太鼓と佐渡おけさの披露がありました。二日目の分科会では「婚活と定住」「ジオパークと受入れ態勢」の 2 グループに分かれて活発な情報・意見交換がありました。

佐渡全体としては「佐渡島三島交流推進連絡会」がまとめていますが、合わせて飛島や粟島の漁村集落と共通性の高い“鷺崎”や“願”といった外海付地区の集落の皆さんとの住民交流を進めていく予定です。

「地域はそこに住むものが自ら作っていかなければ、決して良くならない」
（宮本常一）



憩の館

志住施礎（さしすせそ）

平博の志縁塾（株）タイラ代表取締役、「ハイ！よろこんで」でおなじみの（株）大庄 顧問の平博が、「佐渡に志を持って住み、人々のために尽くし、礎となる人になる」を目標に、故郷 新潟県佐渡の地域活性化をめざしオープンする。

～カエスペースしまかへより～

4 月 29 日より今シーズンの営業が始まり、今年は 4411 名の方々にご来店いただきました。島民の皆さんにはご協力頂きましてありがとうございました。

また、今シーズンの営業は 9 月 29 日を持ちまして終了となり、営業最終日には賑やかな島民の皆さんの笑い声に包まれて、盛況の内に営業を無事終えることができました。

今後共、ご協力のほどよろしくお願い致します。



合同会社とびしまを中心に、今年も参加します!!

【酒田市からのお知らせ】

山形県と酒田市による飛島振興重点プロジェクト (観光交流や防災の施設整備等) について



このことについては、8/26(日)に市長が飛島を訪れ、島民の皆さまと意見交換をさせていただきました。

現在、その際にお示しした資料の内容について、山形県と協議しながら、優先度や実現可能性の高さ等を考慮し、その進め方などを検討しています。

今後も随時、進捗状況をお知らせしていきます。



市長と語る飛島座談会の様子

【「飛島でプチ移住体験事業」実施報告】

今年の夏も、島ターンを実施しました。(今年から事業名が「飛島でプチ移住体験事業」に変わりました!)。今年の参加者は計6名。最年長でも39歳と、若い人の参加が目立ちました。中には、移住に前向きな方もいらっしゃいました。

なお、今年も島の皆様には感謝の声がたくさん寄せられました。皆様からは大変お世話になり、ありがとうございました。



<延縄漁の準備手伝い>



<しまかへで料理の盛付け>

～ ～ 参加者のアンケートより ～ ～

○参加して感じたこと、心に残ったこと

- ・マグロ漁に向けての網修理。あの量を一人でこなしていると考ええると、根気が計り知れない。
- ・民宿の仕事は次から次へとずっと働いている感じで、こんなに大変なんだと驚いた。
- ・離島で暮らすことの良さ、不便さが少し理解できた。

○移住について

- ・穏やかに暮らすにはいい。魚がおいしい、料理もおいしい。
- ・飛島の冬をまだ知らないなので、移住に対しては少々不安。飛島が好きだからこそ縛られたくないという思いや、まずは1年住んでみようという思いがある。

【山形県庄内総合支庁 総務課連携支援室】